

KEITに加入し、「コミュニケーション・スタディーズ」コースを選び、メジャーが「比較文化」という場合の例

※KEITのレベルがBasic/Intermediateの場合の履修モデルです。

	1年次	2年次	3年次	4年次
外国語	国際英語A(L&S) I 国際英語A(L&S) II <u>*国際英語B(W&amp;R) I</u> <u>*国際英語B(W&amp;R) II</u>	<u>*国際英語C(L&amp;S) I</u> <u>*国際英語C(L&amp;S) II</u> <u>*国際英語E(W) I</u> <u>*国際英語E(W) II</u> 国際英語(D) I 国際英語(D) II 英語で読むコミュニケーション・スタディーズA 英語で読むコミュニケーション・スタディーズB	*国際英語F(P&D) <u>*国際英語J(AW)</u> <u>*国際英語K(AW)</u> <u>*国際英語L(MS)</u> 国際英語G(AR) 英語で読むエリア・スタディーズB	
専門基礎	<u>*Introduction to Area Studies</u> <u>*Introduction to Communication Studies</u> <u>*Introduction to Global Studies</u> 国際学入門 ジェンダー論C (セクシュアリティ) コミュニケーション論入門B (ジェンダー)			
専門基幹		<u>*Diversity, Inclusion, and Leadership</u> <u>*Comparative Culture</u> <u>*Foundation of Business Communication</u> <u>*Topics in Business Communication</u> <u>*International Exchange</u> <u>*Topics in Global Issues</u> <u>*Global Leadership</u> 現代社会と文学A (日本) 現代社会と文学B (外国) アメリカの文学 英語圏の文学	<u>*Topics in Japanese studies</u>	
専門発展			<u>*Topics in American Studies</u> <u>*Topics in British Studies</u> <u>*Comparative Writings on Japan</u> <u>*International Relations</u> 国際特論B (コミュニケーション) 比較文化論B (ヨーロッパ) 比較文化論C (アメリカ) コミュニケーション論F (メディアと情報) コミュニケーション論G (言語コミュニケーション)	世界の現代思想C (ヨーロッパ)
演習		国際基礎演習A 国際基礎演習B	<u>*国際専門演習</u>	<u>*国際卒研演習</u> <u>*卒業研究</u>
自由選択	<u>*GSE Introductory Research Seminar</u> <u>*Introduction to GSE Communication Skills</u> <u>*Topics in GSE Communication Skills</u>	<u>*GSE Intermediate Research Seminar</u>		
教養教育	基礎ゼミナール ライフプランと自己実現 課題解決ワークショップ <u>*英語コミュニケーション I</u> <u>*英語コミュニケーション II</u> TOEIC I TOEIC II データサイエンスとICTの基礎 現代社会の諸課題 (文化・芸術) 国際関係を学ぶ 心理を学ぶ	英語コミュニケーションIII 英語コミュニケーションIV 芸術をひらく	女性の生き方と社会 文学をひらく 世界の歴史を学ぶ	

※※赤字はGSEプログラム科目、赤字下線はGSEプログラム修了要件必修科目

※カリキュラムは2024年度のものであり、変更の可能性があります。